

# 考えよう あなたの人權 わたしの人權

## 「人權集中学習」始まる



子どもたちに人權の意義や重要性を理解させ、自分自身や友だちの大切さを認めたり、思いやりのある言動のとれる態度を育てたりすることをねらいに、11月5日(月)から12月8日(土)までを校内人權集中学習の期間として設定しました。この期間中には、①校長による人權講話、②人權ビデオの鑑賞、③道徳や学級活動での人權学習、④人權にかかわる読み聞かせ(ボランティア)、⑤人權標語の作成および応募がおこなわれます。希望者による人權ポスターの応募もあります。

人權集中学習で学んだことが子どもたち一人一人の心に響き、自他を大切にする言葉や行動が広がっていくことを期待しています。思いやりあふれる相生小学校を子どもたちと共に築いていきたいと思ひます。

### 人權講話

<その1>

## 寛容の心 をもって

11月16日(金)全校朝会



11月になって、各クラスの道徳の授業で、「思いやりのある行動をしよう」「友達を大切にしよう」「相手を許す心をもとう」などをテーマに、皆さんは自分の考えをまとめたり、友達と話し合ったりしていると思ひます。これは、人權集中学習を相生小学校全体で進めているからです。

その中で、5年生が「折れたタワー」というお話で道徳の授業をしました。給食当番なのにマスクを忘れてしまったひろしは、同じ当番ののりおに強く責められ、許して貰えませんでした。ところが、その数日後に、今度はのりおが、ひろしが一生懸命作った図工の作品を壊してしまいました。ひろしは、とても悲しみましたが、のりおの過ちを、わざと壊したのではないから「だれにだって失敗はある」と考え、許してやったというお話です。

5年生は、道徳ノートに自分の考えや友達の意見をしっかりまとめていました。「相手の気持ちを考えられる広い心をもとう」とか「自分がされて嫌なことは、人にはしない」など、相手意識を大切にしたい意見がたくさん書かれていました。道徳の授業で、人としてのしっかりした考えがもてることは、とても良いことだと思ひます。考えをもてたら、次は**生活の中で実行・実践する力をつけていける**と素晴らしいですね。

(人權講話の後半は、次号に掲載します)